

うめ登録農薬適用表（殺虫・殺菌）

（R3年11月現在）

* 曆採用欄の空欄は防除曆に記載のない薬剤

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名	
殺菌殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7~10倍	発芽前	—	越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病	多硫化カルシウム	
							8倍					
用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名	
殺菌剤		ICボルドー66D	○	水和剤	散布	50倍	50倍	葉芽発芽前まで	—	かしよう病	銅	
		サルファーゾル	○	ゾル	散布	500倍	500倍	—	—	黒星病	硫黄	
		ポリバリン水和剤	○	水和剤	散布	1000倍	1000倍	収穫30日前まで	3回	黒星病・すす斑病・灰色かび病	イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシソ	
		マイコシールド	○	水和剤	散布	1500倍	1500倍	収穫21日前まで	4回	かしよう病	オキシテトラサイクリン	
		スコア顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	3000倍	3000倍	収穫前日まで	3回	黒星病(2000~3000倍)・すす斑病	ジフェノコナゾール	
		オーシャイン水和剤	○	水和剤	散布	3000倍	3000倍	収穫前日まで	3回	(黒星病・すす斑病2000~3000倍) 灰色かび病・灰星病	オキスポコナゾールフマル塩酸	
用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名	
殺虫剤	劇	ラビキラー乳剤	○	乳剤	散布	200倍	200倍	落葉後~発芽前(休眠期)	2回	コスカシバ	※1MEP・PAP	
		スプレーオイル	○	乳剤	散布	50倍	30~50倍	発芽前	—	カイガラムシ類	マシン油	
	劇	スプラサイド乳剤40			乳剤	散布			収穫14日前まで	2回	カイガラムシ類	DMTP
		スプラサイド水和剤			水和剤	散布	1500倍	1500倍			カイガラムシ類	
			スミチオン乳剤	○	乳剤	散布	1000倍	1000倍 1000~2000倍	収穫14日前まで	2回	ハマキムシ類・アメリカシロヒトリ アブラムシ類	※1MEP
	劇	モスピラン顆粒水溶剤	○	顆粒水溶剤	散布	4000倍	2000~6000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・(ケシキスイ類・カイガラムシ類・ノコメトガリキリガ2000倍)	アセタミプリド	
		ウララDF	○	ドライフロアブル	散布	4000倍	2000~4000倍	収穫7日前まで	2回	アブラムシ類	フロニカミド	
			マラソン乳剤		乳剤	散布		1000~2000倍 2000~3000倍	収穫7日前まで	5回	ハマキムシ類・カイガラムシ類 アブラムシ類	マラソン
			ダントツ水溶剤	○	水溶剤	散布		2000~4000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・ケムシ類・カメムシ類(ケシキスイ類2000倍)	クロチアニジン
			フェニックスフロアブル		フロアブル		(200倍)	200倍 4000倍	開花期まで 収穫前日まで	1回 2回	コスカシバ ケムシ類・コスカシバ	フルベンジアミド
		コルト顆粒水和剤	○	水和剤	散布	2000倍	2000~4000倍 2000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カイガラムシ類	ピリフルキナゾン	
用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名	
フェロモン剤		スカシバコンL			枝に巻き付け設置する		40~100本/10a	成虫発生初期~終期	—	コスカシバ	シナンセルア	

※1:MEPを含む農薬の総使用回数は2回以内